記 者 発 表 令和2年5月19日

わかやま産品販路開拓アクションプログラム 2020

ものづくり和歌山の販売促進戦略

~ものづくり和歌山を全国に、そして世界に~

新型コロナウイルス感染症の影響下における県内企業活動支援

新型コロナウイルス感染症対応のため、県では<mark>副知事を本部長とする支援本部を立ち上げました</mark>。県内企業の皆様の切実なご意見を踏まえ、事業者に寄り添った支援をお届けすべく、支援検討チームで策定した<mark>県独自の支援策を発表</mark>しましたので、是非ともこれらの支援策をご活用ください。

◆支援本部体系図◆

本部長(副知事)

事務局長(商工観光労働部長)

支援検討チーム
(商工観光労働総務課)

総合支援相談窓口 (支援策担当課)

【アクションプログラムの取組方針】

新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明な中、施策を柔軟展開すべく、

①国内外で行動が制限されている中であっても、取り組んでいただける事業

②回復の兆しが見えた段階で活用いただける事業

の2つに分け、各事業を展開します。

1 厳しい状況下にある事業者への支援 新型コロナウイルス感染症に係る支援策

2 国内外で行動が制限されている中であっても、取り組んでいただける事業

- (1) WEBを活用したEC市場への参入支援: ジェトロ「ジャパンモール」の活用、越境ECセミナー等
- (2) 有名グルメ通販サイトを通じた販路拡大: 有名グルメ通販サイトを運営する企業とタイアップした県産品の販路拡大
- (3) WEBを活用した情報提供と各種相談・支援体制の充実:ウェブサイト上で実施するセミナー等
- (4) 県内企業の営業力強化: 多言語ウェブサイトを活用したPR
- (5)展示会・商談会を見据えた販売戦略策定・市場調査支援
- (6) 地場産地の企業による新しいブランドづくりの支援
- (7)経営革新計画承認企業への新商品等開発支援: 和歌山国際経済サポートデスク、NPO法人国際社会貢献センターとの連携
- (8) 地域資源を活用した新商品等開発支援

3 回復の兆しが見えた段階で活用いただける事業

(1) 県産品の商品力向上とメディアを活用した PR 強化

百貨店バイヤーとの協働による商品開発、パッケージデザインの魅力向上支援、首都圏でのプロモーション、

市場影響力を持つメディアを活用した地場産業PR

- (2) プレミア和歌山を通じた販路開拓等支援
- (3) 首都圏での活動拠点の提供
- (4)国内・海外の専門的展示会への出展個別出展、集団出展支援
- (5) 商談会の開催





機械要素技術展(東京)

メゾン・エ・オブジェ パリ

(6) MOU等締結による海外との経済交流の促進、海外へのビジネスミッション団の派遣

MOUに基づく経済交流: **タイ、ベトナム**、インドネシア、**台湾**、

ビジネスミッション団派遣:マレーシア、中国(四川省)、ラオス、タイ、ベトナム

担当課	企業振興課
担当者	西田•中嶋
電話	073-441-2757

わかやま産品販路開拓 アクションプログラム 2020

ものづくり和歌山の販売促進戦略

~ものづくり和歌山を全国に、そして世界に~

新型コロナウイルス感染症の影響下における県内企業活動支援



機械要素技術展(東京) (2020年1月 和歌山県集団出展ブース)



メゾン・エ・オブジェ パリ (2020年1月 和歌山県集団出展ブース)

和歌山県

目 次

1 厳しい状況下にある事業者への支援	1
2 国内外で行動が制限されている中であっても、取り組んで	
いただける事業	
NEW (1) WEBを活用したEC市場への参入支援	5
NEW (2) 有名グルメ通販サイトを通じた販路拡大	
NEW (3) WEBを活用した情報提供と各種相談・支援体制の充実	6
(4)県内企業の営業力強化	
NEW (5) 展示会・商談会を見据えた販売戦略策定・市場調査支援	7
(6) 地場産地の企業による新しいブランドづくりの支援	
(7)経営革新計画承認企業への新商品等開発支援	8
(8)地域資源を活用した新商品等開発支援	
3 回復の兆しが見えた段階で活用いただける事業	
(1)県産品の商品力向上とメディアを活用したPR強化	9
(2)プレミア和歌山を通じた販路開拓等支援	1 0
(3)首都圏での活動拠点の提供	1 2
(4) 国内の専門的展示会への出展	1 3
──部新規	
(5)商談会の開催 ····································	14
	• •
(5) 商談会の開催	• •
(5) 商談会の開催	• •
(5) 商談会の開催 ····································	15
(5) 商談会の開催 ····································	15

◆アクションプログラムの取組◆

本アクションプログラムでは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、柔軟に施策を展開できるよう、

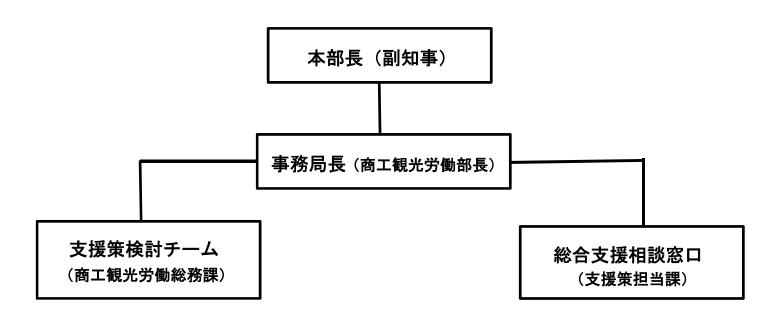
- ①国内外で行動が制限されている中であっても、取り組んでいただける事業
- ②回復の兆しが見えた段階で活用いただける事業
- の2つに分けて各種事業を実施し、県内企業の皆さんを支援してまいります。

なお、感染拡大の影響がいつまで続くのか見通しが立たない中、本アクションプログラムに記載している集 客型事業(国内外展示会出展、商談会の開催、海外ビジネスミッション等)については、新型コロナウイルス 感染症の影響などを踏まえながら、適切な時期を捉えて積極的に取り組んでいきます。

1 厳しい状況下にある事業者への支援

【県内企業の皆様へ】

- 〇新型コロナウイルス感染症の対応のため、県では副知事を本部長とする 支援本部を設置しました。
- 〇県内企業の皆様に寄り添った支援をお届けすべく、皆様の切実なご意見 を踏まえ、支援策検討チームで策定した県独自の支援策を発表しまし た。
- ○支援策は、総合支援相談窓口で相談を受けるとともに、各種機会を捉え、 事業者の皆様への周知を図ってまいります。
- 〇是非、これらの支援策をご活用ください。
- ○今後も新型コロナウイルス感染症の県内経済への影響を見極め、必要となれば、躊躇することなく新たな支援策を打ち出して、県内企業の皆様を全力でサポートしてまいります。
- ◆和歌山県新型コロナウイルス感染症にかかる支援本部



◆新型コロナウイルス発生に関する相談窓口

【支援本部相談窓口 専用ダイヤル】

O 7 3 - 4 4 1 - 3 3 O 1 (9:00~17:45 (6 月末まで土・日、祝日も対応))

相談内容	担当窓口	電話番号	開設期間
融資制度	商工振興課	073-441-2744	
経営相談	商工振興課(非製造業)	073-441-2742	
	企業振興課 (製造業)	073-441-2757	
	観光振興課 (観光業)	073-441-2777	
雇用調整助成金関係 労働政策課		073-441-2790	平日 9:00~17:45
農林水産事業者支援	経営支援課 (農業)	073-441-2880	
	林業振興課(林業)	073-441-2960	
	水産振興課(漁業)	073-441-3004	
	食品流通課(食品eコマース)	073-441-2814	

【関係団体等】

団体名	電話番号	開設期間
和歌山商工会議所	073-422-1111	平日 9:00~17:30
海南商工会議所	073-482-4363	平日 9:00~17:30
田辺商工会議所	0739-22-5064	平日 8:30~17:15
新宮商工会議所	0735-22-5144	平日 9:00~17:00
御坊商工会議所	0738-22-1008	平日 8:30~17:30
橋本商工会議所	0736-32-0004	平日 9:00~17:30
紀州有田商工会議所	0737-83-4777	平日 9:00~17:30
和歌山県商工会連合会	073-432-4661	平日 9:00~17:30
和歌山県中小企業団体中央会	073-431-0852	平日 9:00~17:30
(公財)わかやま産業振興財団	073-432-3412	平日 9:00~17:45

【政府系金融機関】

機関名	電話番号	開設期間
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	0120-154-505 (平日)	
	0120-112-476 (土日)	平日 9:00~17:00
日本政策金融公庫 (中小企業事業)	0120-154-505 (平日)	土日 9:00~16:00
	0120-327-790 (土日)	
商工中金	0120-542-711	平日·土日祝 9:00~17:00

◆新型コロナウイルス感染症に係る県独自の支援策 (5月1日発表)

I.事業継続支援金

概要:新型コロナウイルスの影響により、売上減少が50%以上ある事業者の事業継続に向け

県独自で支援金を支給

支 給 額:従業員規模に応じ、20万~100万円

対 象:全産業(国の持続化給付金の給付を受けた事業者)

Ⅱ その他の事業継続に向けた支援メニュー

1. 県内事業者事業継続推進

概 要:新型コロナウイルス感染症の蔓延により、事業縮小等を余儀なくされた事業者に対し、 このような状況を打破すべく実施する事業に係る経費を補助

対 象:以下の要件を満たす者

①県内に事業所等の事業拠点を有する事業者等

②中小企業基本法第2条に規定する中小企業者もしくは小規模事業者又は これと同等と認められる者

③売上が前年同月比20%以上減少している者

対象事業:

A 事業継続のために実施する事業

例) 従業員等のスキルアップ研修、ネット販売システム構築 等

B 危機的状況を乗り越えるために実施する事業

例) 売上向上のためのデリバリーやテイクアウトの導入、新商品開発 等

C 安全·安心を確保するために実施する事業

例) 施設等の消毒に要する備品購入、

抗菌対策に要した備品(空気清浄機、パーテーション、仕切り板)の購入 等

補助限度額等:

補助限度額 100万円

補助率 補助対象経費の2/3 補助対象期間 令和2年12月31日まで

事業規模 30万円以上の事業 募集期間 令和2年5月~6月

|2. 持続化給付金申請サポート

概 要: 持続化給付金を県内事業者が速やかに受給できるよう、Web 入力補助等を円滑にするため、 商工会・商工会議所を支援

3. 雇用調整助成金申請サポート

概 要: ①相談窓口の設置・・・雇用調整助成金の申請について、社会保険労務士が無料で相談 ②アドバイザー派遣・・・訪問のアドバイスを希望する企業に社会保険労務士を派遣

|4. 教育訓練の推進|

概 要:雇用調整助成金を活用して従業員の教育訓練を実施する場合に加算される訓練費に上 乗せすることにより、職業に関する知識、技能、技術等の習得を促進するとともに雇用の 維持を推進

(雇用調整助成金の教育訓練助成の加算額 2,400円(中小)、1,800円(大企業)にそれぞれ 3,000円上乗せ)

対 象:国の雇用調整助成金(教育訓練)を受給する教育訓練

5. 観光関連事業者緊急融資

概 要: 観光関連事業者に対して3,000万円上限の1年間無利子・保証料免除の融資を実施 対 象: 成長サポート資金の観光振興対策事業者(例:宿泊・交通・観光土産品販売などの施設)

◆新型コロナウイルス感染症に係るその他の支援策

1. 融 資

① 県の中小企業融資制度(3年間無利子・無担保・全期間保証料減免の融資)

対 象:新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少した事業者

(セーフティネット保証 4号、5号、危機関連保証の認定を受けた事業者)

上 限:3,000万円

② 日本政策金融公庫による3年間実質無利子・無担保の融資

1 新型コロナウイルス感染症特別貸付

対 象:新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が5%以上減少した事業者

かつ中長期的に業況が回復し、発展が見込まれる事業者

上 限:6.000 万円 融資期間:設備20年以内、運転15年以内(いずれも据置5年以内)

2 新型コロナウイルス対策マル経融資(マル経融資の別枠)

対 象: 商工会議所や商工会などの経営指導を受けている小規模事業で、新型コロナウイルス感染症の

影響により売上高が5%以上減少した事業者

上 限:1,000万円 融資期間:設備10年以内(据置4年以内)、運転7年以内(据置3年以内)

③ 商工中金による3年間実質無利子・無担保の融資

対 象:新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が5%以上減少した事業者

上 限:3億円

2. 雇用調整助成金

概 要:雇用の維持を図るための休業手当に要した費用を助成する制度

4月1日から6月30日までの休業等については助成率を引き上げるとともに、非正規雇用

の方も含め支援

助成率:中小企業4/5、大企業2/3

(解雇等を行わない場合は中小企業9/10、大企業3/4)

※対象労働者1人あたり、8,330円が上限

※教育訓練を実施した時の加算額:2,400円(中小企業)1,800円(大企業)

3. 持続化給付金

概 要:売上が大きく減少した事業者に対し、一定額を上限に現金を給付

対 象:ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少した事業者

給付額:法人200万円以内、個人事業者100万円以内

申請方法:Web 上での申請が基本 商工会議所・商工会でも申請を支援

和歌山県が実施する各種産業支援施策の一覧については、

「わかやま企業応援ナビ」にも掲載しておりますので、是非ご確認ください。

■わかやま企業応援ナビ(和歌山県ホームページ)

https://www.wakayama-sangyo.com/

2 国内外で行動が制限されている中であっても、取り組んでいただける事業

行動が制限されている中で、急速に拡大が見込まれるEC市場への参入を支援し、 県産品の販路拡大・売上向上を図ります。

また、地場産業の新しいブランドづくりや地域資源を活用した新商品開発などを支援し、県産品の魅力向上を支援します。

ウェブサイト上で開催するセミナーを活用して、各種情報提供を幅広く行います。

(1) WEBを活用したEC市場への参入支援

NEW

新型コロナウイルスの影響でEC市場の急拡大が見込まれる中、事業者の競争力強化・売上向上を目指し、EC市場の近況やノウハウを学ぶ講習会をウェブサイト上で開催し、県産品の魅力向上と販路拡大を図ります。

〈国内市場向け〉

●講習会の開催

モール(楽天、Amazon、Yahoo!など)での 販売戦略やwebデザイン、SEO対策、海外展開等 を学び、EC市場での競争力強化・売上拡大を図る。

※感染終息後に商談会を開催

自社でのネット販売が困難な県内事業者と県内で ネット販売を行っている事業者とのマッチング商談会 を開催し、EC市場での販路開拓を支援



ネット商品撮影の様子 (R2.2月~3月)

商談会の様子(R1.11)

〈海外市場向け〉

●越境ECサイトの活用促進

ジェトロが運営する**越境ECサイト「ジャパンモール」**を 周知し、ジェトロとの共催による活用セミナーを開催する。

(2) 有名グルメ通販サイトを通じた販路拡大

NEW

有名グルメ通販サイトを運営する企業とタイアップし、<u>e コマースを活用</u>したプレミア和歌山等の県産品の販路拡大を目指します。

●有名グルメ通販サイトのブランドカ、発信力を大いに活用するため、プレミア和歌山をはじめとする県産品をサイト内に出店し、こだわりの県産品や県産品の品質の高さを広く一般消費者に周知し、販路拡大につなげる。

(3) WEBを活用した情報提供と各種相談・支援体制の充実

NEW

世界的に新型コロナウイルスの経済的影響が深刻化する中、県内の経済団体等と緊密に連携し、ビジネス環境の情報提供をはじめ、相談・支援体制の充実を図ります。

●ジェトロと連携し、諸外国の新型コロナウイルス感染症からの回復状況等、海外の最新情報や 進出日系企業の対応状況などを、ウェブサイト上で開催するセミナーを通じて、県内 企業に情報提供を行う。

また、国内・国際経済に精通した講師を迎えて**貿易実務や海外ビジネススキル等のセミナー**を ウェブサイト上で**開催し、**企業の海外進出を支援する。

- ●わかやま産業振興財団内に設置している「和歌山国際経済サポートデスク」として、常駐する 海外取引に精通したアドバイザーが、海外展開に係る情報・ノウハウ等を県内企業へ提供し、 各種相談に応じる。
- ●NPO法人国際社会貢献センター (ABIC) と連携し、県内企業の課題に最も適したアドバイザーをマッチングし、企業に紹介する。

(4) 県内企業の営業力強化

感染終息後の海外プロモーションを見据え、地場産業及び伝統工芸の歴史、風土、ものづくりへのこだわり、優れた技術力を海外のターゲットに効果的に訴求するため、<u>多言語ウェブサイトを活用してPRを行う。</u>【5月下旬 開設予定】

●ウェブサイトの活用

和歌山の地場産業及び伝統工芸の歴史、優れた技術を有する企業、製品を総合的に紹介するための多言語ウェブサイト(日本語、英語、中国語)を活用してPRを行う。

《ウェブサイトイメージ》







(5) 展示会・商談会を見据えた販売戦略策定・市場調査支援

NEW

(1) 販売戦略策定支援

自社商品の効果的な販路開拓を狙う県内中小企業の販売戦略策定について、複数名の 戦略家による戦略チームで多角的に支援します。 【採択数】20社(予定)

(2) 市場調査支援

主に一般消費者向けの商品のニーズに関する市場調査を実施し、ターゲットに応じた商品仕様の明確化など、商品企画力の向上を支援します。

(上記の販売戦略策定支援で採択された企業のうち、希望する企業を支援します) 【採択数】6社程度(予定) 企業負担金(2割程度)

<販売戦略策定・市場調査支援のイメージ>

販売戦略 策定支援 【商品の企画】

市場調査支援 【ニーズ、製品 仕様の明確化】 展示会出展の 効果を高める! ・集団出展 ・個別出展

(6) 地場産地の企業による新しいブランドづくりの支援

新ブランド確立のための事業計画策定から試作品開発、販売促進までを支援します。

●わかやま地場産業ブランド力強化支援

県内地場産地の企業による、新しいブランドづくりの取組を最長3年間継続して支援 【補助率】2/3以内

【対象期間】最長3年間(年度末に次年度継続について審査)

【3年間の補助限度

企業(単独) 1年目 2,000千円、2年目と3年目 4,000千円 企業グループ 1年目 4,000千円、2年目と3年目 8,000千円

※補助内容(例)

ア 事業計画策定支援(1年目)

現状分析及び外部専門家を活用した新しいブランドコンセプトや基本戦略づくりを支援

イ 新ブランド確立支援(2~3年目)

外部専門家を活用し、新商品・新サービスの開発、試作品製作や展示会出展等の販路開拓 などの取組を支援

- ※平成23年度~令和元年度 採択件数83件
- ※新商品の開発例



高性能・高品質なフェイクファー製



漆洋食器



オリジナル生地の特性を 活かしたスーツ

(7) 経営革新計画承認企業への新商品等開発支援

経営革新計画の承認を受けた中小企業者等が、計画に従って実施する新商品・新役務開発及び 販路開拓、人材養成に要する経費の一部を補助します。

●経営支援補助金(経営革新事業)

新商品等の開発、販路開拓のための展示会出展や広告宣伝研修等を支援 【補助率】2/3以内 【対象期間】1年以内 【補助額】300万円以内

※経営革新計画とは

新商品・新役務等新たな取組を行い経営の向上を図る「経営革新計画」を県が承認するもの

(8) 地域資源を活用した新商品等開発支援

新ブランド確立のための事業計画策定から試作品開発、販売促進までを支援します。

(1)わかやま中小企業元気ファンド

中小企業者等を対象に地域資源(農林水産物、産地の技術、 観光資源)を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓 事業などを支援

【補助率】 2/3以内【対象期間】2年以内

【補助額】 600万円以内

※わかやま中小企業元気ファンドの 交付決定を受けた事業者に対し、 県中小企業融資(成長サポート資金)で支援 (※県融資制度優遇金利を適用)

②わかやま農商工連携ファンド

農林漁業者と中小企業者等が連携(農商工連携)し、 それぞれの経営資源を有効に活用した新商品・ 新サービスの開発事業、販路開拓事業などを支援

【補助率】 2/3以内【対象期間】2年以内

【補助額】 300万円以内





熊野米を使った日本酒

3 回復の兆しが見えた段階で活用いただける事業

県産品の商品力を高めるとともに国内外のメディアとの連携、首都圏における営業 拠点の提供等により、県産品販売の展開準備を支援します。

これまで準備をしてきた販売戦略を実行に移し、一気呵成に反転攻勢をかけ、県産品の魅力を最大限に発揮できるよう販売促進活動を積極的に支援します。

(1) 県産品の商品力向上とメディアを活用した PR 強化

① 百貨店バイヤーとの協働による商品開発 百貨店バイヤーからのアドバイスにより商品開発を行います。(わかやま産品魅力再発見事業)

●地域の生産現場にバイヤーが乗り込んで、事業者と協働で商品開発を実施。 バイヤーが現地を訪問し、百貨店目線でみた 県産品の改良、新商品の企画、他業種やデザイナー

とのコラボなどを提案。 【対象】食品、工芸品(伝統工芸品には限定せず) 【参画事業者数】

令和元年度採択事業者17者 令和2年度については食品・工芸分野を追加募集



イベントロゴ

② パッケージデザインの魅力向上支援

消費者の購買意欲をかき立てる重要な要素であるパッケージデザインの魅力向上を図るため、 事業者の意識改革を促す個別相談会を開催します。(2回開催予定)

③ 首都圏でのプロモーション

百貨店バイヤーからのアドバイスにより開発した 県産品について首都圏でプロモーションを行います。

- ●ブラッシュアップした県産品を 首都圏の複数の三越伊勢丹店舗で取り扱い
- ●商品を紹介するとともに、 和歌山県の魅力を伝えるプロモーションを実施



三越銀座店での「和歌山フェア」 (R2 2 19~25)

④ 市場影響力を持つメディアを活用した地場産業PR

県内地場産地で培われた優れた技術、高品質の素材製品の認知度の向上を図り、 「メイドイン和歌山素材」のブランド確立を目指します。

●市場影響力を持つ新聞や関連誌を活用した周知拡大 それぞれの産地の歴史、風土、ものづくりへのこだわり、優れた技術力、品質の高さを 広く一般消費者にも知ってもらうことで、産地の信頼性やイメージを定着させ、企業間 取引の拡大につなげる。

(2) プレミア和歌山を通じた販路開拓等支援

① プレミア和歌山の認定

優れた県産品等をプレミア和歌山推奨品に認定します。

- ●プレミア和歌山(和歌山県優良県産品)推奨制度
 - ①和歌山県内で生産・製造されたもの
 - ②安全、安心を重視したもの
 - ③和歌山らしさ、和歌山ならではのもの

などの観点から県産品等を選定し、推奨する制度

【認定状況】 355事業者622品目 (令和2年4月1日現在)



和歌山県

R元年度(第 12 回) プレミア和歌山推奨品記者発表内覧会

●プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞

プレミア和歌山推奨品の中から特に優れた産品に対して審査委員会で選定される特別賞の 受賞事業者に対しては、商品のコンセプトづくりから販路開拓までを支援。

(プレミア和歌山プロデュース)

※選定状況 16商品(令和2年4月1日現在)

【受賞品】



令和元年度特別賞受賞推奨品 「紀州南高梅ひつまぶし」 (太田商店)



平成 30 年度特別賞受賞推奨品 「熊野本宮・釜餅(よもぎ)」 (有限会社熊野鼓動)

●プレミア和歌山審査委員奨励賞(特別賞に次ぐ特に優れた産品)

※選定状況29商品(令和2年4月1日現在)

【令和元年度奨励賞受賞品】



近大キャビア (株式会社アーマリン近大)



九和楽の柿の葉すし: しいたけ (九和楽)



小玉スイカ(ひとりじめ7) (古田農園)



シトラスじゃばら果汁 (特定非営利活動法人花咲か)



長寿柿 (株式会社パーシモン)



ネギのタバスコ ネギスコヴィル (カワバタファーム)

②プレミア和歌山の販売促進

首都圏メディア等を活用してプレミア和歌山の認知度を向上させ、販売促進活動を積極的に 展開します。

●プレミア和歌山のPR活動

• 情報発信力のある方を招いて、プレミア和歌山を食材にした料理の提供や産品等のPRを行うセレモニーを開催

【会 場】都内有名ホテル 【参加者】メディア関係者やバイヤー等

• プレミア和歌山パートナー(文化人、芸能人など各界に影響力を発揮できる方)を 通じたプレミア和歌山の販売促進活動の展開

【プレミア和歌山パートナー】(敬称略)

泉 麻人(コラムニスト)、荻野アンナ(作家/仏文学者)、クミコ(歌手)、 幸田真音(作家)、鈴木光司(作家)、弘兼憲史(漫画家)、山本一力(作家)



プレミア和歌山セレモニー (R元.11都内ホテル)



プレミア和歌山セレモニー (R元.2都内ホテル)



プレミア和歌山発表・内覧会 (R2.2 和歌山市内ホテル)

・テレビ、新聞、雑誌などのメディア活動や、 大手民間企業(百貨店等)とのタイアップキャンペーンに よるプレミア和歌山のブランドイメージ向上

●プレミア和歌山の販売促進強化

- 大手食品卸との連携強化による販路開拓
- ・ 物産店舗出店による認知拡大及び販売促進
- ・展示会等への出展による販路開拓・拡大
- ・多様な流通ツールの活用による販路拡大 第10回通販食品展示商談会(令和2年9月場所未定) わかやま産品商談会in大阪(令和3年1月OMMビル)



百貨店とのタイアップイベント (R元. 10. 2~8 和歌山市内)



第9回通販食品展示商談会 (R元.9虎ノ門ヒルズフォーラム)

(3) 首都圏での活動拠点の提供

首都圏での展開を目指す県内企業に営業拠点を提供し、販路開拓を支援します。

東京都内にレンタルブース(わかやまビジネスサポートセンター)を設置し、 ABIC(NPO法人国際社会貢献センター)等専門家が販路開拓のアドバイスを行います。

<入居者の取組事例>

- ・システム提案、ソフトウェア開発の事業者 都内の販売代理店と提携し販路拡大。入居により売上が約25%増加。
- ・木製建具製造・販売の事業者 首都圏の展示会に積極出展。入居により売上が約 15%増加。
- 鉄製高圧継手製造の事業者 ABIC 専門家のサポートにより新規顧客を開拓。入居後、首都圏拠点を設置。

<わかやまビジネスサポートセンターの概要>

所在地:東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル3階) ※東京駅前 入居企業数:12社(R2.4現在)









オフィス使用 無料

※電話等の個別契約は入 居者様の負担となります。



商社OB(専門家)、インキュ ベーションマネジャー等によ る相談・アドバイス支援



利用時間 8時30分~21時(平日) (日曜・祝日、年末年始のぞく)



JR東京駅(日本橋口) 徒歩2分

(4) 国内の専門的展示会への出展

新型コロナウイルス感染症の影響 を踏まえながら、適切な時期を捉えて 積極的に取り組んでいきます。

①個別出展支援

国内の著名な専門的展示会へ出展する企業に対して 出展費用の一部を補助します。

●補助の内容

【補助率】1/2以内

【補助額】50万円以内 (前年度実績12社)

【補助実績の例】Japan Home & Building Show(東京ビッグサイト、建築関連の展示会) LIVING & DESIGN(インテックス大阪、インテリア・住宅関連の展示会)

②集団出展

県内企業が自社の製品、技術を効果的にPRし、商談につなげていけるよう、各分野ごとに、 著名な専門的展示会を厳選し、「和歌山県ブース」として集団出展します。

家庭用品、漆器、繊維等

東京インターナショナル・ギフト・ショー秋

パーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市

【会期】令和2年10月

【場 所】東京ビッグサイト、東京都立産業貿易センター浜松町館

【規模】来場者数約180,000人出展社数約2,300社

【出展企業】10社程度(前年度実績8社)



東京インターナショナル・ギフト・ショー

伝統工芸品

京都インターナショナル・ギフト・ショー NEW

伝統の技や職人が作り出す商品に焦点を当てた国際見本市

【会期】令和3年3月

【場 所】京都市勧業館

【規模】来場者数約24,000人、出展者数約350社

家具、建具、インテリア等

IFFT/インテリアライフスタイルリビング

「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場 のための国際見本市

【会期】令和2年10月

【場 所】東京ビッグサイト

【規模】来場者数約 16,000 人 出展者数約 350 社

【出展企業】6社程度(前年度実績5社)



IFFT/インテリアライフスタイルリヒ゛ンク゛

皮革

東京レザーフェア

国内最大の皮革関連見本市へ県内産地組合の出展を支援

【会期】令和2年12月

【場 所】東京都立産業貿易センター台東館

【規模】来場者数約6,000人 出展社数約170社

【出展予定】和歌山県製革事業協同組合(前年度実績組合員7社)



東京レザーフェア

機械金属

機械要素技術展(関西・東京)

機械要素(軸受、ベアリング、ねじ、ばね等)や金属、樹脂 に関する加工技術の専門技術展

【場 所】インテックス大阪・幕張メッセ

【規 模】来場者数(大阪)約40,100人(東京)約66,100人 出展社数(大阪)1,373社(東京)1,302社



機械要素技術展

※【規模】は昨年度実績(機械要素技術展(東京)はH3O年度実績)

国内の主要な展示会

は集団出展を行う展示会	
-------------	--

家庭用品 漆器•雑貨	繍 維	皮 革	家具•建具	機械・電子	化学
IFFT/ インテリアライフ スタイルリビング	ジャパン・ベストニッ ト・セレクション JBKS	東京レザーフェア	IFFT/ インテリアライフ スタイルリビング	機械要素技術展	CPhl Japan
インターナショナル・ギフト・ショー	Premium Textile Japan	JFWJapan Creation	ジャパンホーム& ビルディングショー	インターネプコン	インターフェックス ジャパン

(5) 商談会の開催

県内企業の新規取引先を開拓するため、商談会等を開催します。

①大企業との商談会

技術を必要とする大企業とその技術を有する県内企業がマッチングできるよう大企業と商談会を開催

【参加企業】10社程度

(前年度実績: (株) イシダとの商談会、応募11社、個別商談7社)

②わかやま産品商談会

優れた県産品を製造する県内企業と県外バイヤー等との 商談機会を設定

【場 所】和歌山市内、大阪市内

【出展企業】県内の食品の製造・加工・販売企業

③取引商談会

県外の発注企業(機械金属系メーカー等)と県内企業との 新規取引の開拓などを支援

【場 所】和歌山市内、大阪市内、京都市内

【参加企業】80社程度



わかやま産品商談会(R1.9 和歌山市)



取引商談会(R1.7和歌山市)

④EC商談会

自社でのネット販売が困難な県内事業者と、県内でネット販売を行っている事業者とのマッチング商談会を開催

(6) 海外の専門的展示会への出展

新型コロナウイルス感染症の影響 を踏まえながら、適切な時期を捉えて 積極的に取り組んでいきます。

①個別出展支援

海外の著名な専門的展示会へ出展する企業に対して出展費用の一部を補助します。

※諸外国の新型コロナウイルス感染症収束状況等により、中止及び出展見合わせの可能性があります。

●補助の内容

【補助率】1/2以内 【補助額】100万円以内 (前年度実績10社) 【補助実績の例】

- プルミエール・ヴィジョン(フランス・パリ、テキスタイル展示会)
- ・テクテキスタイル(ドイル・フランクフルト、産業用繊維展示会)
- CPhl china (中国 上海、医薬品原料関連展示会)

②集団出展

県内企業が世界のバイヤーに自社の製品、技術を効果的にPRし、商談につなげていけるよう、 分野ごとに、著名な専門的展示会を厳選し、「和歌山県ブース」として集団出展します。

※諸外国の新型コロナウイルス感染症収束状況等により、中止及び出展見合わせの可能性があります。

家庭用品・漆器

・メゾン・エ・オブジェ パリ (フランス)

世界最大級のインテリア・デザイン関連の見本市

【会 期】2021年1月

【会 場】パリノールヴィルバント会場

【規模】来場者数81,232人出展者数2,736社

【出展社数】8社程度(前年度実績6社)

ショップ・オブジェクト(アメリカ)デザイン性の高い雑貨、日用品、ファッション

小物等の見本市

【会期】2020年10月

【会 場】ピア36(ニューヨーク)

【規模】来場者数6,000人 出展社数200社

【出展社数】4社程度(前年度実績2社)



メゾン・エ・オブジェ(和歌山県ブース)

繊維

ミラノウニカ (イタリア)

生地素材、テキスタイルの世界最大規模の見本市

【会 期】2020年9月

【会場】フィエラ・ミラノ・ロー

【規模】来場社6,000社 出展社数608社

【出展社数】4社程度(前年度実績3社)

皮革

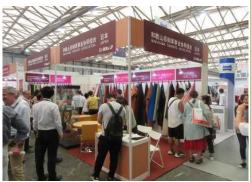
オールチャイナレザーエキシビション(中国・上海)

皮革産業関連展示会、アジア最大級の皮革関連見本市

【会期】2020年9月

【会 場】上海新国際博覧センター

【規模】来場者数約23,000人 出展社数約1,100社 "【出展予定】和歌山県製革事業協同組合(7社程度)



オールチャイナレザーエキシビション

機械金属

メタレックス2020 (タイ)

ASEAN地域最大級の金型・金属加工機械・工作機械及

び関連部品の見本市

【会 期】2020年11月

【場 所】タイ・バンコク国際貿易展示センター

【規模】来場者数約 100,000 人 出展社数約 4,000 社

【出展社数】4社程度(前年度実績2社)

世界の主要な展示会

	は集団出展を行う展示会
-	の未自由及らりフ及から

国•地域	家庭用品 漆器・雑貨	繊 維	皮 革	家具•建具	機械・電子・金属	化 学
アメリカ	NY・NOW (ニューヨーク) ショップ・ オブジェクト (ニューヨーク) インターナショナル・ホーム&ハウスウェア ショー (シカゴ)				CES (ラスベガス)	
田・ロッパ	アンピエンテ (ドイツ) メゾン・エ・オブジェ (フランス)	ブルミエール ・ヴィジョン (フランス) ミラノウニカ (イタリア)	リネアペッレ (イタリア)	ケルン国際家具 インテリア見本市 (ドイツ) ミラノサローネ (イタリア)	ハノーバー メッセ (ドイツ)	CPhI Worldwide (イタリア)
アシア	香港ギフト&ブレミア ムフェア(香港)	インター テキスタイル上海 (上海)	オールチャイナ・ レザー・エキシビ ション(上海) APLF LEATHER & MATERIALS (香港)		メタレックス (タイ)	China Interdye (上海)

(7) MOU等締結による海外との経済交流の促進

海外の政府機関と経済交流などにおける協力関係を記した覚書(MOU)等を締結し、連携を 深めることで、海外における県内企業のビジネスチャンスを創出、拡大します。

●MOU等に基づく経済交流

<タイ> NEW

- ・バンコクで開催される機械金属関連見本市「メタレックス 2020」(11 月開催予定) 出展の機会を捉え、タイ工業省協力の下、ビジネスマッチングを実施。
- 紀州漆器企業とタイの漆器企業との素材交換や技術の交流を通した新商品開発の検討

<ベトナム> NEW

- ・企業間の連携をさらに進めるため、ベトナムへ 県内企業によるビジネスミッション団を派遣
- 和歌山県内での商談会の開催

<インドネシア**>**

• 機械、繊維関連企業を中心に和歌山県内での 商談会を開催



ベトナムビジネスミッションでの表敬訪問(2020年2月)

<台湾> NEW

・台湾からトップ100企業が来県し、県内企業との商談会を開催。

●MOU等の締結状況

- タイ工業省(2019年5月MOU締結)
- タイ商務省(2019年5月MOU締結)
- ベトナム商工省(2018年10月MOU締結)
- インドネシア工業省 (2017年10月Joint statement(共同声明)発表)
- インドネシア商業省 (2016年4月Joint statement(共同声明)発表)
- スペイン・ガリシア州(2015年10月MOU締結)
- ベトナム農業農村開発省(2015年3月 MOC 締結)
- 台湾 TJPO (2014年2月 MOU 締結)
- インド・マハラシュトラ州 (2013年10月MOU締結、2018年1月更新)
- 香港貿易発展局(2013年7月 MOU 締結)
- ・中国山東省(2007年7月経済協力枠組み覚書締結)



タイ商務省との覚書(MOU)締結の様子 (2019年5月28日) タイ国内最大級の総合食品見本市「THAIFEX2019

(タイフェックス) 」の会場にて

(8) 海外へのビジネスミッション団の派遣

海外におけるトップセールスやセミナー、商談会等のビジネスミッションを実施することで、 県内企業のビジネスチャンスを創出します。

<ビジネスミッション団の派遣予定>

- ●マレーシア NEW 県内企業によるミッション団を派遣し、現地においてビジネスマッチングを実施。
- ●中国(四川省) NEW 県内企業によるミッション団を派遣し、現地においてビジネスマッチングを実施。
- ●ラオス タイプラスワンとして注目されているラオスへ県内企業によるミッション団を派遣。
- ●タイ(再掲)●ベトナム(再掲)

(9) ジェトロ和歌山貿易情報センターとの連携(共同事業)

貿易振興の専門機関である日本貿易振興機構(ジェトロ)の和歌山貿易情報センターと連携し、 県内企業の海外展開を強力に支援します。

県とジェトロ和歌山との主な連携事業







●セミナーの共同開催(再掲)

ウェブサイト上で実施するセミナーを活用しながら、県内企業、業界団体等のニーズを踏まえ、時宜を得たテーマによるセミナーを開催。

【貿易講座】

貿易実務(基礎編・実践編)

【テーマ別セミナー】(予定)

- 海外ビジネススキルセミナー (海外市場参入の準備、展示会の効果的な活用等)
- EPA利用実践セミナー
- ・越境ECセミナー(ジャパンモールの活用促進等)



ジェトロホームページ

●EC市場開拓支援(再掲)

ジェトロが海外ECサイトに開設する「ジャパンモール」への出展を促すため、セミナーの開催や申請手続きの支援を行う。

●海外展示会出展の機会をとらえたマッチング支援

海外出張時に現地バイヤーとのマッチング支援、企業訪問、 商談支援等を実施

●産地間連携支援

タイ漆器産地企業と紀州漆器企業との新製品開発の支援



チェンマイ漆器産地訪問 (2019年7月・10月)

●ビジネスミッション実施時の相互協力(再掲)

県とMOUを締結しているタイ、ベトナム等との経済交流を加速させるため、県ビジネスミッション実施時に商談マッチングの拡充、強化を図るとともに、ミャンマー等新興国への調査を実施。

【参考】

公益財団法人わかやま産業振興財団のご案内

(公財) わかやま産業振興財団は、県内中小企業の創業から成長、 技術開発、販路開拓、さらには人材育成等における多様なニーズに 対し、豊富な民間人材を活用した総合的な支援を行うことにより、 本県地域産業の高度化・高付加価値化を図るため、和歌山県より指 定された県内唯一の中小企業支援センターです。



わかやま産業振興財団 (フォルテワジマ6階)

支援内容(販路開拓)

わかやま産業振興財団は、県内企業の相談 窓口となり、県と連携しながら国内外の販 路開拓等支援を行います。







和歌山県

わかやま産業振興財団 連 携

・展示会出展支援(集団・個別) ・商談会の開催 ・EC市場での競争力強化

·展示会出展支援(集団・個別) ・国際ビジネス展開支援・海外ビジネス専門家派遣

国内販路開拓

海外販路開拓

- 首都圏での活動拠点の提供

ものづくり支援(販路開拓) ・わかやま中小企業元気ファンド ・わかやま農商工連携ファンド

【海外販路開拓】

- 専門的な海外展示会への集団出展支援
 - ・ミラノウニカ (イタリア)
 - ・メタレックス(タイ)
 - ・ショップ・オブジェ(アメリカ)
 - · 中国国際輸入博
- ●専門的な海外展示会への個別出展支援
- ●海外展開への相談体制の充実
 - ・国際経済サポートデスク相談員による 海外ビジネス展開支援
 - A B I C等との連携による専門家の派遣

【販路開拓を視野に入れたものづくり支援】

- ●地域資源を活用した商品開発・販路開拓支援
 - ・わかやま中小企業元気ファンド
 - ・わかやま農商工連携ファンド

【国内販路開拓】

- ●専門的な国内展示会への集団出展支援
 - 機械要素技術展(東京・関西)
 - 東京インターナショナル・ギフト・ショー
 - IFFT/インテリアライフスタイルリビング等
- 専門的な国内展示会への個別出展支援
- ●国内での商談会開催
 - ・わかやま産品商談会の開催
 - 取引商談会の開催
- ●展示会・商談会を見据えた販売戦略策定・ 市場調査支援
- E C市場での競争力強化
 - ・eコマース研究会で講習会等を開催
- ●首都圏での活動拠点の提供
 - ・ A B I C 等専門家による販路開拓のアドバイス

[TEL] (073) 432-3412 [FAX] (073) 432-3314

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 フォルテ・ワジマ6階

【お問い合わせ】

和歌山県 商工観光労働部 企業政策局 企業振興課 〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL:073-441-2758 FAX:073-424-1199

email: e0610001@pref.wakayama.lg.jp

HP: http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index.html